

# 令和4年度 福岡市高速鉄道事業会計予算の概要

## 1. 予算

収益的収支	金額
収入	30,801 百万円
支出	30,432 百万円
差引	369 百万円
単年度損益 (消費税要素除く)	△ 426 百万円

令和3年度末累積損益 △ 113,294百万円  
 令和4年度損益 △ 426百万円  
 令和4年度末累積損益 △ 113,720百万円

資本的収支	金額
収入	23,479 百万円
支出	34,696 百万円
差引	△ 11,217 百万円

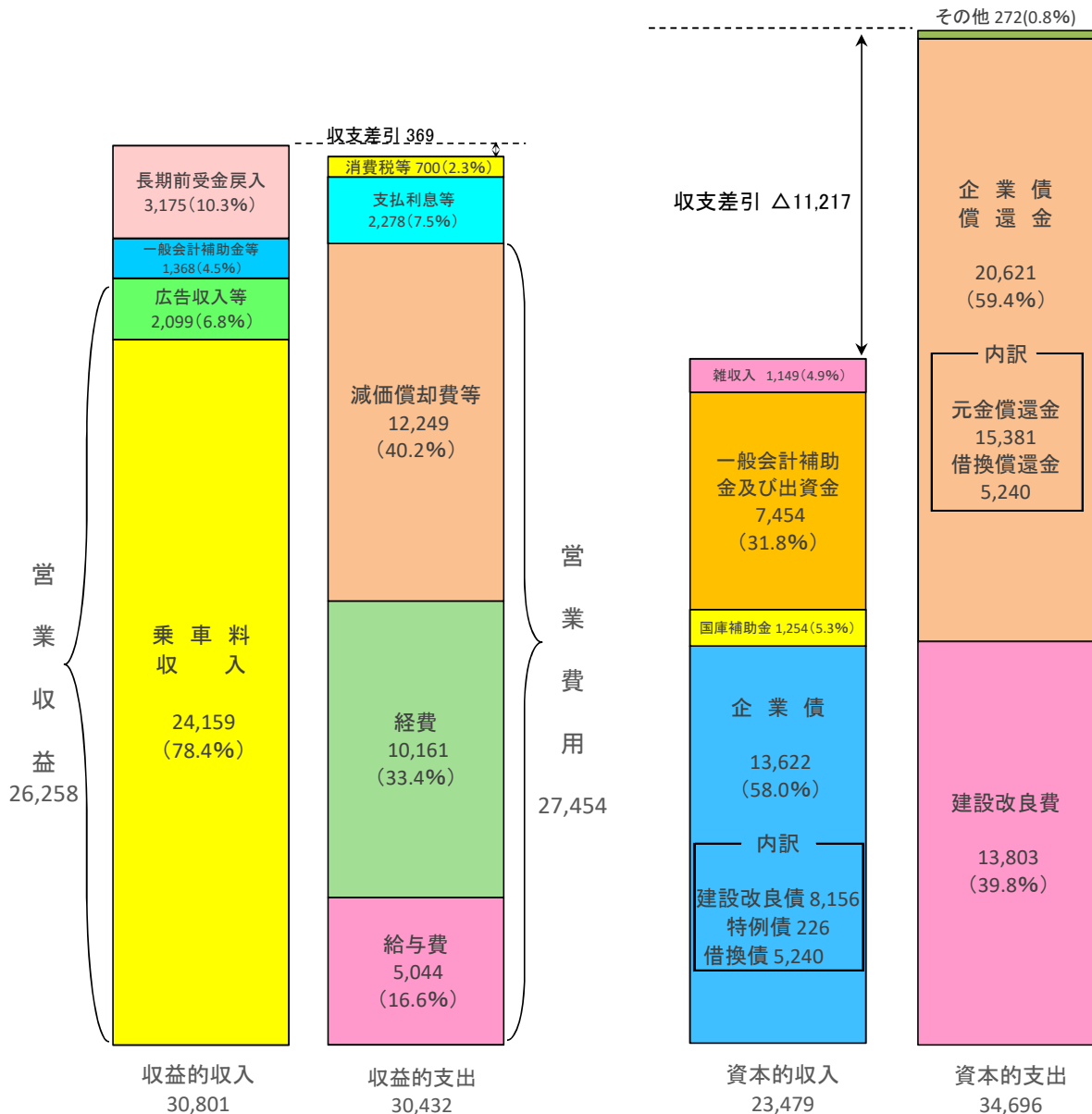
※ 減価償却費などの損益勘定留保資金等9,178百万円で補てんし、なお不足する額2,039百万円については企業債（特別減収対策）で措置する  
 令和4年度末累積資金過不足額 △ 4,293 百万円

### 収益的収支

(単位：百万円)

### 資本的収支

(単位：百万円)



※新型コロナウイルス感染症による減収を補てんするため、企業債（特別減収対策）を2,303百万円借り入れる。

## 2. 業務の予定量

### (1) 営業路線及び営業キロ

空港線（1号線）	姪 浜 ～ 福岡 空港	13.1	キロメートル
箱崎線（2号線）	中 洲 川 端 ～ 貝 塚	4.7	キロメートル
七隈線（3号線）	橋 本 ～ 天 神 南	12.0	キロメートル
七隈線（3号線）	天 神 南 ～ 博 多	1.6	キロメートル
計		31.4	キロメートル

※天神南～博多間は令和5年3月の開業を見込む

(2) 車 両 数 228両 (45編成)

(3) 年間走行キロメートル 18,792,872 キロメートル

(4) 年間輸送人員 129,210,000 人

(5) 一日平均輸送人員 354,000 人

○内訳	4年度	3年度	差引
空港・箱崎線 (a) [乗り継ぎ分含む]	294,900 人	270,800 人	24,100 人
七隈線 (b) [乗り継ぎ分含む]	76,100 人	64,900 人	11,200 人
乗り継ぎ分 (c)	17,000 人	14,600 人	2,400 人
全線計 (a) + (b) - (c)	354,000 人	321,100 人	32,900 人

## 3. 主要な建設改良事業

七隈線延伸事業	事業費	6,016,000 千円
営業線改良事業	事業費	7,786,360 千円

## 4. 重要施策

### (1) 七隈線延伸事業の推進

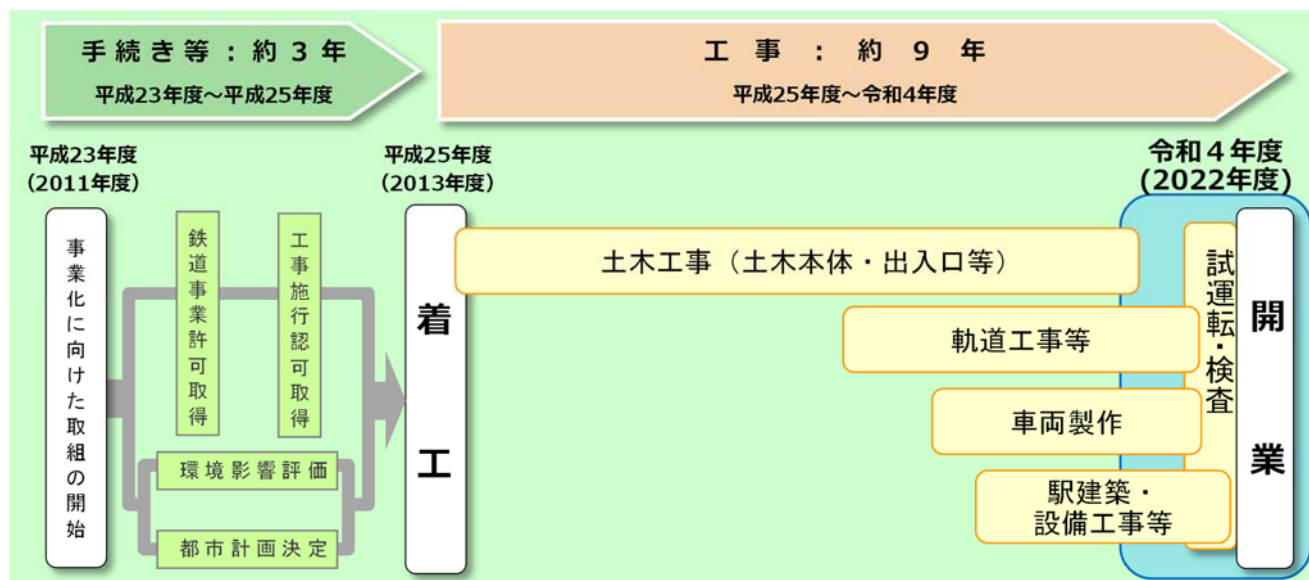
6,016,000 千円

土木工事や軌道工事、駅建築・設備工事等について、安全対策に万全を期しながら進めていくとともに、令和5年3月の開業に向け、試運転の実施や各種検査等に着実に取り組む。

また、全市的なイベントなどの機会も捉えつつ、市民に期待感や親しみをもっていただけるような広報及びイベント等を実施するとともに、市政だよりやホームページなどの既存媒体に加え、SNSを活用するなど、引き続き多様な情報発信に取り組む。

#### <事業の概要>

- ◇延伸区間 天神南～博多
- ◇建設キロ 約1.4km（営業キロ約1.6km）
- ◇事業費 約587億円
- ◇開業予定 令和5年3月
- ◇利用人数 延伸区間で約8.2万人/日（需要定着後）うち新規利用者数…約2.3万人/日



(単位：千円)

区分	令和4年度	令和3年度	比較増減	備考
七隈線延伸事業	6,016,000	11,429,000	△5,413,000	・土木工事 ・軌道工事 ・駅建築・設備工事 等
令和2年度までの実績額:34,424,824 千円				
令和2年度繰越額:6,562,658 千円				

※上記には高速鉄道事業会計以外の負担により施工する受託工事費等を含む

## (2) 安全・安心の確保

安全を最優先とする組織風土を確立するため、運輸安全マネジメントのスパイラルアップを図るとともに、教育訓練の充実などによる安全スキルの向上や、施設・車両などの安全性確保、様々な自然災害やテロ対策の強化等に取り組む。

また、安全・安心の取組みに関する情報を積極的に発信する。

### ア 施設、車両などの安全性の確保

2,875,217 千円

トンネルなどの土木構造物について、長期的な補修計画に基づき改良工事を実施するとともに、自動列車制御装置（ATC）や七隈線運行管理システムなどを計画的に更新し、施設・設備等の安全性の確保に取り組む。

また、車両については、2000系車両の大規模改修や3000系車両の列車制御装置の更新等を行い、安全性や快適性を向上させるとともに、運用開始から40年が経過した1000N系車両更新のため、新造車両製作を推進する。

そのほか、姪浜車両基地の安定的な機能維持のため、建築物等の経年劣化に対応した大規模改修事業を推進する。

### イ 災害対策などの強化

95,044 千円

局地的な集中豪雨などによる浸水に備え、駅施設の浸水対策を強化する。

また、新たに「みんなのトイレ」の自動扉押しボタンの非接触化や七隈線博多駅及び櫛田神社前駅においてエスカレーター手すりの自動清掃装置による消毒を実施するとともにマスクアンドライドの推進、既存の駅や車両などにおける消毒や抗ウイルス化の実施など、新型コロナウイルス感染症対策に継続して取り組む。

(単位：千円)

区分	令和4年度	令和3年度	比較増減	備考
ア 施設、車両などの安全性の確保	2,875,217	2,226,276	648,941	
土木構造物改良工事	156,310	212,503	△56,193	トンネル断面修復 等
総事業費：1,899百万円（事業期間：平成25年度～令和4年度） 実績額：1,530,371千円				
姪浜駅リニューアル	21,639	84,746	△63,107	内外壁等改修
総事業費：386百万円（事業期間：平成27年度～令和4年度） 実績額：279,320千円				
駅内外装大規模改修	1,536	-	1,536	中洲川端駅内外装大規模改修実施設計
自動列車制御装置(ATC)更新	383,977	19,349	364,628	対象駅：貝塚駅(7駅中7駅目)
総事業費：3,372百万円（事業期間：平成18年度～令和4年度） 実績額：2,968,320千円				
電力遠制御装置更新	344,824	356,763	△11,939	七隈線延伸事業に伴う機器の新設・改良、主要機器の更新 等(再掲額を含む)
総事業費：703百万円（事業期間：令和2年度～令和4年度） 令和2年度繰越額：1,000千円				
七隈線運行管理システム更新	434,245	429,462	4,783	七隈線延伸事業に伴う機器の新設・改良、主要機器の更新 等(再掲額を含む)
総事業費：870百万円（事業期間：令和2年度～令和4年度） 令和2年度繰越額：6,469千円				
2000系車両大規模改修	863,159	613,810	249,349	車体の補修、主要機器の更新 等
総事業費：2,699百万円（事業期間：平成30年度～令和5年度） 実績額：713,730千円 令和2年度繰越額：254,566千円				
3000系車両列車制御装置更新	384,527	509,643	△125,116	自動列車制御装置、自動列車運転装置の更新 等
総事業費：2,460百万円（事業期間：平成30年度～令和7年度）				
姪浜車両基地大規模改修	285,000	-	285,000	管理棟大規模改修工事 等
総事業費：1,469百万円（事業期間：平成30年度～令和6年度） 実績額：87,273千円 令和2年度繰越額：332,657千円				
イ 災害対策等の強化	95,044	54,004	41,040	
浸水対策事業	35,432	15,749	19,683	駅施設の浸水対策改良工事
新型コロナウイルス感染症対策	59,612	38,255	21,357	「みんなのトイレ」の自動扉押しボタンの非接触化、駅や車両の消毒、マスクアンドライドの推進、お客様用消毒液の全駅配置 等(再掲額を含む)
計	2,970,261	2,280,280	689,981	

### (3) 快適で質の高いサービスの提供

お客様により満足いただける高品質なサービスを提供するため、スムーズな輸送サービスや快適・便利な環境づくりに取り組むとともに、高齢者や障がいのある人に対応したサービスの提供や来街者にも使いやすい環境整備など「ユニバーサル都市・福岡」にふさわしい地下鉄に向けた取組みを推進する。

#### ア 快適・便利な環境づくり

1,549,828 千円

お客様に安心・快適にご利用いただくため、乗車マナー向上に関する取組みを継続するとともに、駅の空調設備を改善する。

また、七隈線博多駅及び櫛田神社前駅において、お客様のより安全な乗降を確保するため、3Dセンサー搭載型ホームドアを導入する。

そのほか、七隈線の混雑緩和等を図るため3000A系車両1編成を導入する。

なお、3000A系車両には、車内における犯罪防止等、セキュリティ向上を目的として車内に防犯カメラを設置する。

#### イ 来街者にも使いやすい環境整備とサービスの提供

50,836 千円

福岡市を訪れる国内外からのお客様などの利便性向上を図るため、博多駅に地下鉄駅コンシェルジュを配置するとともに、地下鉄車内や駅の案内サインについて、車内案内表示器の外国語表記を含め、より分かりやすい案内表示に改修する。

(単位：千円)

区分	令和4年度	令和3年度	比較増減	備考
ア 快適・便利な環境づくり	1,549,828	89,024	1,460,804	
乗車マナーの向上	54,396	55,818	△1,422	乗車マナー向上キャンペーン、エスカレーター音声案内装置設置 等
防犯対策の強化	9,871	-	9,871	3000A系車両車内防犯カメラの設置
混雑の緩和	1,309,829	423	1,309,406	3000A系車両製作、車内混雑状況駅掲示費用(再掲額を含む)
より安全な乗降の確保	139,463	2,192	137,271	七隈線博多駅及び櫛田神社前駅ホームドア3Dセンサー導入 等(再掲額を含む)
駅空調の改善	36,269	30,591	5,678	空調設備の改善(七隈線)
イ 来街者にも使いやすい環境整備とサービスの提供	50,836	74,949	△24,113	
インバウンド対策	50,836	74,949	△24,113	駅案内サイン及び車内案内表示器の改修、地下鉄駅コンシェルジュ 等(再掲額を含む)
計	1,600,664	163,973	1,436,691	

(4) まちづくりへの貢献

福岡のまちの発展に貢献するため、駅周辺のまちづくりに対応した駅施設の改良や、沿線の地域、イベント、施設などと連携した取組みを推進する。

また、省エネの推進など環境対策に関する取組みを推進する。

**ア 沿線まちづくりに対応した駅施設の改良など** 91,722 千円

博多駅筑紫口において、駅リニューアルの一環として、お客様の安全性や快適性の向上を図るため、天井、壁、誘導ブロックなどの内外装改修を行う。

**イ 沿線の地域、イベント、施設などとの連携** 1,596 千円

「世界水泳選手権福岡大会・世界マスターズ水泳選手権九州大会」の気運醸成に向け、車体広告や案内放送等により大会のPRを行う。

**ウ 環境対策に関する取組み** 396,504 千円

省エネのため、トンネル内の照明や駅構内の電照広告のLED化を計画的に実施し、使用する電力の削減に取り組む。

また、再生可能エネルギーの利用を促進するため、七隈線博多駅及び櫛田神社前駅において下水熱や地中熱を活用した空調設備を導入するほか、本局庁舎における使用電力を再生可能エネルギーに転換する。

(単位：千円)

区分	令和4年度	令和3年度	比較増減	備考
ア 沿線まちづくりに対応した駅施設の改良など	91,722	151,278	△59,556	
博多駅筑紫口リニューアル事業	91,722	151,278	△59,556	博多駅内外装大規模改修工事
総事業費:250百万円(事業期間:令和元年度～令和4年度) 実績額:5,321千円				
イ 沿線の地域、イベント、施設などとの連携	1,596	24,624	△23,028	
世界水泳選手権大会の気運醸成	1,596	24,624	△23,028	車体広告・案内放送
ウ 環境対策に関する取組み	396,504	734,187	△337,683	
駅照明等のLED化改良工事	103,435	294,187	△190,752	トンネル内照明・電照広告のLED化
総事業費:1,728百万円(事業期間:平成23年度～令和13年度) 実績額:992,424千円 令和2年度繰越額:63,849千円				
再生可能エネルギーの利用促進	293,069	440,000	△146,931	七隈線博多駅及び櫛田神社前駅における再生可能エネルギーの導入(再掲額)
総事業費:1,158百万円(事業期間:令和2年度～令和4年度) 令和2年度繰越額:122,000千円				
合計	489,822	910,089	△420,267	



## (5) 経営基盤の強化

新型コロナウイルス感染症の影響など、経営環境の大幅な変化に対応するため、地下鉄の中長期的な経営の基本計画である経営戦略の見直しに取り組む。

また、経営基盤を強化するため、データ分析に基づく戦略的な営業施策の推進、広告・駅ナカ事業収入の確保や遊休資産の有効活用に取り組む。

そのほか、地下鉄を支える人材の計画的な確保と育成に取り組む。

### ア 経営戦略の見直し

181 千円

新型コロナウイルス感染症の影響など、経営環境の変化に対応するとともに、将来にわたって安定的に事業を継続していけるよう、平成31年2月に策定した福岡市地下鉄経営戦略の見直しに着手する。

### イ 戦略的な営業施策の推進

36,107 千円

「新しい生活様式」の定着など、地下鉄を取り巻く環境の変化に対応し増客増収を図るため、各種営業データの分析を通して地下鉄利用者の現状把握等に努めるとともに、七隈線延伸区間の開業を活かした営業施策を実施する。

### ウ 人材確保と育成

19,126 千円

交通局人材育成プランに基づき、専門的かつ高度な知識や技術を有する人材を育成していくため、研修の充実に取り組むとともに、鉄道に関する幅広い知識の習得や専門技術の向上に向けた取組みを推進する。

(単位：千円)

区分	令和4年度	令和3年度	比較増減	備考
ア 経営戦略の見直し	181	-	181	
経営戦略の見直し	181	-	181	福岡市地下鉄経営戦略懇話会開催経費
イ 戦略的な営業施策の推進	36,107	4,015	32,092	
営業データの分析・活用	8,776	4,015	4,761	各種営業データの分析を通じた新たな施策の検討 等
七隈線延伸区間開業を活かした営業施策の実施	27,331	-	27,331	時短案内サインの設置・七隈線沿線地域の魅力発信 等
ウ 人材確保と育成	19,126	19,546	△420	
安全・安心を支える人材の育成	19,126	19,546	△420	基本研修、派遣研修、資格取得支援 等
合計	55,414	23,561	31,853	